

# インフルエンザ流行発生警報発令！

～定点当たり30.00人を超える！～

川崎市では、毎週61施設のインフルエンザ定点医療機関から患者の発生状況を報告いただき、市内のインフルエンザの発生動向を把握・分析し市民の皆様へ情報提供を行っています。

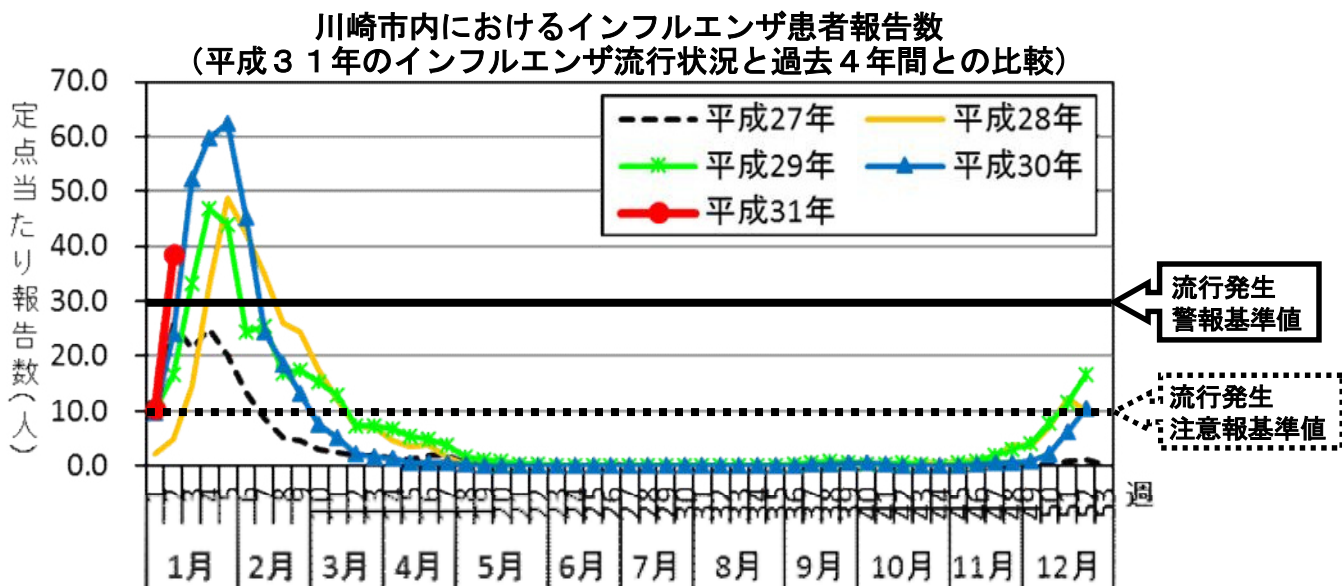
平成31年第2週（集計期間：平成31年1月7日～平成31年1月13日）のインフルエンザの患者報告数が流行発生警報基準値（定点当たり30.00人）を超え、定点当たり38.48人となったため、流行発生警報を発令します。

現在、川崎市内においてインフルエンザの大きな流行が発生していますので、別添リーフレットを参考にインフルエンザに「かからない、うつさない」ために一人ひとりが予防を心掛けましょう。

## 1 本市における今シーズンのインフルエンザ流行状況

- ・ 流行開始の目安（定点当たり1.00人）を超えたのは、平成30年第50週（定点当たり2.16人）でした。
- ・ 流行発生注意報基準値\*1（定点当たり10.00人）を超えたのは、平成30年第52週（定点当たり10.62人）でした。
- ・ 今回、流行発生警報基準値\*2を超えたことで、インフルエンザの大きな流行の発生と継続が予想されます。

\*1 今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があること。  
\*2 大きな流行の発生と継続が疑われること。



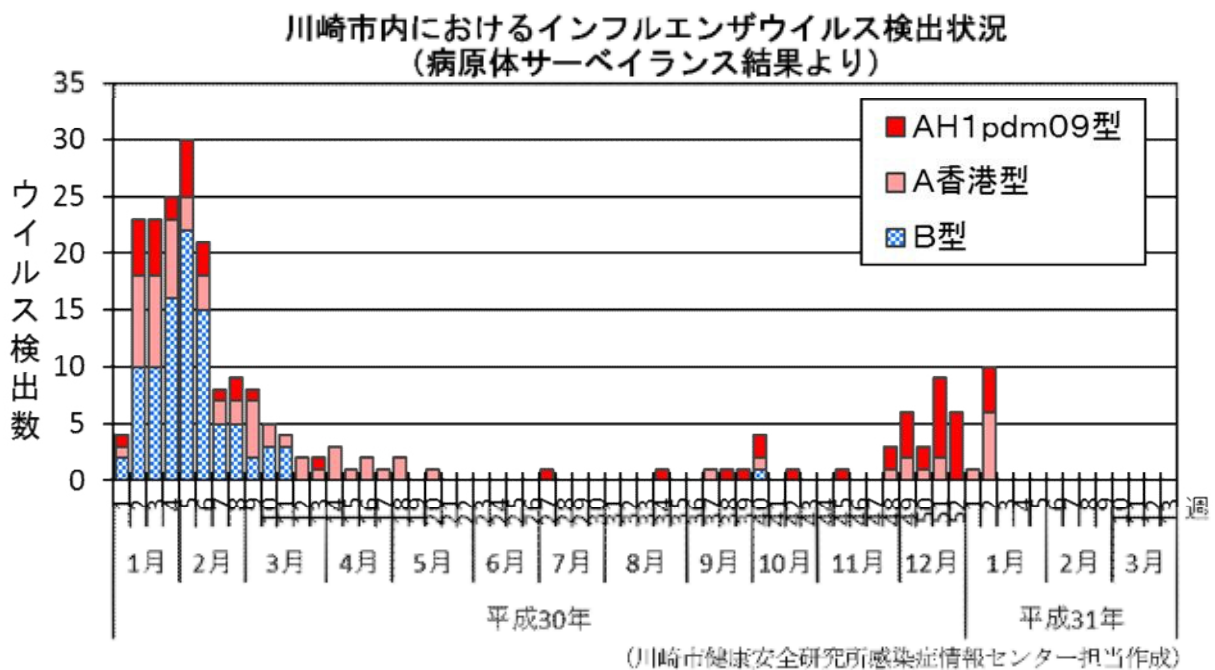
（川崎市健康安全研究所感染症情報センター担当作成）

## 2 本市における今シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

感染症発生動向調査では、市内16箇所の病原体定点医療機関から検体の提供をいただき、インフルエンザウイルスの検査を行い、流行しているインフルエンザウイルスの型の把握を行っています。

今シーズンの検体提供数は52件であり、そのうち47検体からインフルエンザウイルスが検出され、その内訳はAH1pdm09型（平成21年に流行した新型インフルエンザウイルス）が31件、A香港型が15件、B型が1件となっています。

※平成31年1月16日結果判明分まで



## 3 過去4年間のインフルエンザ流行発生警報発令日及び警報基準値超過週

平成29年度：平成30年1月24日（平成30年第3週）

平成28年度：平成29年1月24日（平成29年第3週）

平成27年度：平成28年2月2日（平成28年第4週）

平成26年度：平成27年1月7日（平成26年第52週）

《問合せ先》

川崎市健康福祉局保健所

感染症対策課 小泉

電話 044-200-2446

ウイルスを撃退して

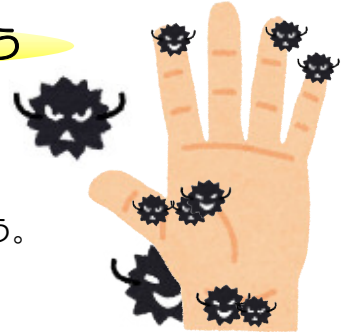
# インフルエンザを予防しましょう！

川崎市内でインフルエンザが流行しています。

インフルエンザに「かからない、うつさない」ために、正しい衛生習慣を身につけましょう。

## 外出から帰ったら、必ず、手洗い、うがいをしましょう

- ◆ ウイルスは目に見えないため、どこについているかわかりません。外出したら、必ず石けんで手洗い・うがいをしましょう。
- ◆ 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- ◆ 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。



## 人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を身につけましょう

- ◆ せきやくしゃみが出たら、
  - ・他の人にうつさないようにマスクを着用しましょう。（口だけでなく鼻もおおきましょう）
  - ・マスクを持っていない場合は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻をおおきましょう。
- ◆ せきやくしゃみを手でおおったら、手を石鹸で丁寧に洗いましょう。
- ◆ 鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐゴミ箱にすてましょう。



マスクは正しく着用しましょう！

## ワクチン接種を受けましょう



- ◆ インフルエンザにかかった場合の重症化を防ぐ効果が期待できます。接種から2～3週間で効果が現れますので、まだ受けていない方はできるだけ早い接種をおすすめします。

## 空気環境やふだんの健康管理に注意しましょう

- ◆ 部屋は適切な湿度を保つようにしましょう。（湿度50%～60%程度）
- ◆ 定期的に換気をよく行いましょう。
- ◆ 十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。



## なるべく人混みへの外出は避けましょう



- ◆ インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ◆ 発熱や関節痛等のインフルエンザが疑われる症状があるときは、無理をして学校や職場には行かず、早めに医療機関を受診しましょう。